MAY.2008
VOL.143

# かしわら市議会だより

第　143　号
平成 20 年 5 月
発行　柏原市議会
編集　市議会だより編集委員会
柏原市安堂町1番55号
電　話　972－1501(代表)
ＦＡＸ　971－8932
Ｅメール　gikai@city.kashiwara.osaka.jp

竜田古道の里山さくらまつりの風景

## 議会日誌

平成20年（2008年）

**2月**

1日　公民館運営審議会
4日　(仮)国分東総合スポーツ公園特別委員会
5日　長瀬川沿岸下水道組合議会
　　大和川下流流域下水道組合議会
　　幹事長会
12日　農業委員会
　　寝屋川南部広域下水道組合議会
13日　岐阜県関市来柏
　　柏羽藤環境事業組合議会
14日　関西若手議員の会来柏
15日　中部市議会議長会総会
　　幹事長会
18日　柏原羽曳野藤井寺消防組合議会
　　第7回政務調査費検討会
19日　(仮)国分東総合スポーツ公園特別委員会
　　藤井寺市柏原市学校給食組合議会
20日　議会運営委員会
　　全国高速自動車道市議会協議会理事会・総会
21日　定例本会議（市政運営方針演説・議案説明）
　　幹事長会
22日　幹事長会
26日　八尾市柏原市火葬場組合議会
29日　(仮)国分東総合スポーツ公園特別委員会

**3月**

3日　大阪府市議会議長会総会
7日　農業委員会
10日　定例本会議（市政運営方針に対する質問）
11日　定例本会議（市政運営方針に対する質問・議案質疑）
12日　定例本会議（議案質疑）
13日　定例本会議（議案質疑）
14日　市議会だより編集委員会
17日　総務文教委員会
19日　市民福祉委員会
21日　幹事長会
24日　建設産業委員会
25日　(仮)国分東総合スポーツ公園特別委員会
26日　第8回政務調査費検討会
27日　議会運営委員会
　　大和川右岸水防事務組合議会
28日　定例本会議（各委員長報告・採決）
　　柏原市土地開発公社役員会

**4月**

9日　大阪府市議会議長会監事会
11日　市議会だより編集委員会
15日　農業委員会
　　近畿市議会議長会総会
16日　市議会だより編集委員会
22日　千葉県我孫子市来柏
25日　大和川右岸水防事務組合議会

# 市政運営方針に対する質問

平成20年第1回柏原市議会定例会は、2月21日から3月28日までの37日間の会期で開きました。市長からの市政運営方針に対する代表質問を3月10・11日に行い、各会派の主な質問内容は次のとおりです。

## JR柏原駅の駅前広場及び周辺道路の整備の見通しについて
## 市民・自民クラブ

**問**　JR柏原駅西口地区市街地再開発事業の駅前広場及び、柏原駅西線と上市今町線の整備の見通しについて問う。

**答**　今年度は、柏原駅西線のうち再開発ビル周辺の歩道部分と上市今町線の平野川から東側の車道及び歩道部分の工事を進めている。

事業期間の最終年度である平成20年度で残っている用地交渉を進めていくとともに、駅西線の車道部分、上市今町線の平野川から西側の歩道部分及び駅前広場について工事を行い、平成21年3月末には完成する予定である。

**問**　都市計画道路大県本郷線のJR線から東側の工事進捗状況と今後の見通しについて問う。

**答**　現在の用地買収率は、JR線から長瀬川までは約32パーセント、長瀬川から市道上市法善寺線までは約93パーセントが買収済みと大阪府から聞いている。

残りの用地買収については、本年7月ごろをめどとして、鋭意事業の推進を図りたい。

整備が進むJR柏原駅西口周辺

## 幼・小・中一貫教育について
## 自由民主党政新会

**問**　堅上小・中学校の一貫教育については、教育内容の充実を図り、その効果を検証し成果を他の中学校区に広げ、また、新しく学びの連続性を重視して、柏原の地域性を活かした特色ある教育活動を展開するために、幼稚園も含めた幼・小・中一貫教育の検討調査を進めるということだが、その内容について問う。

**答**　小・中学校だけではなく、幼稚園と小学校の円滑な接続、つまり、幼・小・中のつなぎを大切にすることを目的として、保育所を含む「幼・小・中一貫教育検討委員会」を立ち上げ、市内全域の各中学校区の状況に応じた一貫教育の在り方、進め方について大学教授などの有識者を交えて検討を進めたい。

**要望**　幼稚園、小学校はそれぞれの目的に応じた教育の特性があり移行するのには少なからず段差がある。子どもたちのことを第一に考え、目的、理念を持った教育の展開を要望しておく。

## 地方自治の確立・行財政改革の一層の推進を！
## 会派に属さない議員

**問**　行財政改革推進の成果及びその到達点について問う。

**答**　行財政改革は、「財政の健全化」と考え、平成17年度から3年間で、補助金や契約方法の精査等、あらゆる事務事業の見直しを行った。その結果、約34億円を節減し、市民本位の行財政運営を目指してきた。

**要望**　行財政改革の一環として、住民票の発行等に郵便局を活用することを要望する。

## 歩きやすいまちづくり
## 自由民主党新進

**問**　国土交通省が定めた交通バリアフリー法に基づく基本構想で近鉄河内国分駅周辺地区、ＪＲ柏原駅周辺地区、ＪＲ高井田駅周辺地区を特定経路に盛り込み、完成目標を平成22年としているが、未整備のＪＲ高井田駅付近のバリアフリー化とエレベーター設置について問う。

**答**　本市では、平成15年3月に策定した交通バリアフリー法による基本構想に基づき、事業を鋭意進めているところである。平成19年度は、ＪＲ柏原駅の自由通路、本郷平野線の歩道設置及び柏原東小学校から堅下駅西側周辺の歩道改良などを行った。

　鉄道駅舎のエレベーター設置については、基本構想に位置付けられている3駅のうち、近鉄河内国分駅、ＪＲ柏原駅は完了したが、未整備のＪＲ高井田駅については、駅前広場内の歩行者導線の見直しも含め、ＪＲ西日本などの関係機関とも協議を行い、一体的に進めてまいりたい。

エレベーター設置が待たれるJR高井田駅

## 新しい柏原のまちづくりについて
## 公明党

**問**　市長が言う「新しい柏原の基盤」をどのように築くのか問う。

**答**　まちづくり基本条例を制定し、今年1月には、公募市民の委員会から「新しい柏原　まちづくり基本計画２００８」の提言を受けた。これらにより、新しい柏原の基盤を創り上げる体制が整った。

**問**　この基本計画では、数値目標を設定し、平成24年度までに達成することを目標としているが、具体的な進め方について問う。

**答**　「まちづくり室」を設置し、まちづくり委員会で計画を立案して、市民の皆さまに発信する。

**問**　第3次総合計画と、基本計画との関係について問う。

**答**　総合計画は、ある意味では総花的に表現されている部分が多々あるが、基本計画は、実質的にこれから一つ一つ手がけていく目標を、市民の視点で設定したもので、全く異質のものである。

**要望**　基本計画とともに総合計画もハード・ソフト両面から進捗のチェックを行うことを要望する。

## （仮）国分東総合スポーツ公園について
## 会派に属さない議員

**問**　特別委員会において土地購入に伴う債務保証について、審議されているが、厳しい社会経済状況の中、財政事情が良くなるまで見送るべきでないか問う。

**答**　理事者をはじめ、各担当部長と協議した結果、財政的には可能であると考える。

**要望**　この用地を防災基地として活用することも検討されているが、防災基地には小・中学校の運動場の活用を要望する。

## 少人数学級の充実を
## 日本共産党

**問**　子どもたちにわかる授業、自らが考え、学ぶ意欲を育てる授業を保障していくために、小学3年生以降にも少人数学級を実施する考えについて問う。

**答**　小学3年生以降は、少人数指導の適正で有効な活用を推進していく。

**要望**　少人数指導は、特定の教科だけを複数の教員が教えることであり、少人数学級とは違いがある。今、教育に求められている、子どもの抱える様々な不安や悩み、問題行動をきめ細かく見ることができるかという点においても、大きな違いがある。少人数学級は学面習でも生活面においても子どもを丁寧にみることができ、少人数指導より効果的である。

　ぜひとも、これからの柏原市を背負っていく子どもたちの教育のために、アンケート等を実施し、市民の皆さんの意見も聞いた上で検討会等を設置し、少人数学級の拡充について前向きに検討していただくように要望する。

# 議案質疑のあらまし

平成20年度の各会計の予算案など37議案に対する、代表質疑を3月11日から13日までの3日間に行いました。各会派の主な質疑の内容は次のとおりです。

## 柏原を元気な子育て支援都市に！
### 市民・自民クラブ

**問**　本年度の子育て支援事業について問う。

**答**　平成20年度の子育て支援に関する取り組みとしては、保育所入所希望者を公立、民間の保育所において全員措置した。

この保育所の待機児童がゼロというのは大阪府下の市町村では見られないことであり、本市の児童福祉の一つの充実と考えている。

また、在宅の児童とお母さんのための子育て支援にも力を注いでおり、昨年11月に「ほっとステーション」をアゼリア柏原に開設し、地元住民の協力を得て運営を行い、子育て中の親子が一緒に過ごせるひろばとして活用されている。

今後は、育児休暇等の充実により在宅での子育て支援が必要となる傾向が強く、さらに検討を重ね、子育てのしやすいまち「柏原」を推進していきたい。

**要望**　柏原市が子どもを生みやすく育てやすいまちとして全国に発信するために「子育て支援都市宣言」を行うように強く要望する。

アゼリア柏原に開設された「ほっとステーション」

## 高齢者の生きがい対策について
### 自由民主党新進

**問**　今後の柏原市の年齢別人口推移を見ると、団塊の世代と呼ばれる方々も加わり、6～7年後には、全市民の約3割が65歳以上の超高齢社会となる。総合的な高齢者福祉を考えたとき、シルバー人材センターのより一層の充実が求められるが、市の考えを問う。

**答**　これまで委託業務として受けていた公共駐車場等の管理が指定管理者制度に移行され、大変厳しい条件の下ではあるが、この指定を受け、高齢者の就業機会の確保に努めている。

また、他の軽易な業務への雇用による就業を希望する会員には、無料職業紹介事業を実施するなど就業機会の拡大を図っている。

**問**　会員が高齢化し、仕事の受注量も減っているように聞くが、活性化のための指導について問う。

**答**　就業機会の確保を図るため、「お役に立ちます地域で企業でご家庭で」をキャッチフレーズに多種多様の仕事の募集を行い、若返りと活性化に努めている。

## 第4次柏原市総合計画策定委託料について
### 会派に属さない議員

**問**　亀の瀬地すべり対策地利用基本構想・計画の内容について問う。

**答**　亀の瀬地すべり対策地については、平成21年度～22年度中には工事が終わり、その後、国から府に移管された後に、地すべり対策の機器設置場所を除いて、柏原市が全面使用できる予定ではあるが、その整備計画について、今後、三者で検討を行う。

## 乳幼児健診の診査内容について　公明党

**問**　乳幼児健康診査の診査内容について問う。

**答**　4か月児健診では、問診、身体計測、診療、集団での栄養指導、個別での保健、栄養指導を行っており、1歳6か月児では4か月児健診の項目に加えて、ことばの発達、歯科診療、カリオスタット及び心理相談を行っている。そして、3歳6か月児では、それまでの項目に検尿、視聴覚の問診を加え、親子のかかわりを重点に相談、指導に繋げている。

オアシスでの幼児健康診査

**問**　3歳でなく、なぜ3歳6か月児健診を行っているのかを問う。

**答**　3歳6か月が身体の発達、精神面の発達においても一番重要な時期であるため実施している。

**要望**　視力は、3歳頃から急速に発達するといわれ、3歳児健診において弱視を早期発見し、矯正することで、視力を回復させることが可能であると聞いている。

早く弱視の治療ができるように3歳6か月児健診を3歳児健診に変更することを要望する。

## 75歳以上の差別医療制度は撤廃を！　日本共産党

**問**　4月実施予定の後期高齢者医療制度の保険料について問う。

**答**　平均年金受給額208万円の方の保険料は9万5155円である。また、年金額が年額18万円以上の人は、4月の年金振込分（2月・3月分）から4月・5月分の保険料が天引きされる。

**要望**　75歳以上のすべての人を現在の医療保険から追い出し、強制的に加入させる後期高齢者医療制度では、一人ひとりが保険料を払わねばならない。介護保険料に加えてさらに保険料も年金から天引きされ、今後2年ごとに保険料が値上がる過酷な制度である。

さらに、受ける医療の内容も差別（治療制限）される。このような、高齢者の医療を別建てで強制する国は世界に一つもない。

人は誰でも年を取り、若いころは元気でも加齢に伴い医療費が増えるのは当然である。国保の連続値上げ、年金・介護の負担増と給付削減の中、この制度の4月実施を中止し、撤回する以外にない。

## 急がれるがん対策　がん検診の一層の充実を　会派に属さない議員

**問**　がん検診の状況を問う。

**答**　個別検診の子宮がん、集団検診の乳がん、胃がん、大腸がん及び肺がんの検診を行っている。

子宮がんは20歳以上、乳がんは30歳以上を対象に行い、胃がんは30歳以上を対象に大腸がんと同時に検診を実施している。

**要望**　がん治療の充実、がん支援センターの新設など、がん検診受診率の更なる向上のための方策とがん対策の充実を強く要望する。

## ニーズを的確にとらえ次のステップへ！　自由民主党政新会

**問**　昨年11月に開設した「ほっとステーション」事業の現状と担当課の認識を問う。

**答**　開設当初から今年1月末迄の利用登録者は非常に多く、一日平均40組の親子に来ていただいており、日によっては、70組を超える利用がある。また、「ぽっぽメール」という情報紙を作成し、お知らせや啓発に努めている。

担当課としては、開設以来、好評をいただいており、子育てをされているお母さん方のニーズにあったものであると再認識している。

今後も、ますますのご利用を期待している。

**問**　子育て世代に好評で、担当課としても「ニーズにあったものである」と再認識しているということだが、柏原地区以外にも同様の施設の開設を検討しているのか問う。

**答**　今後、国分地区にも一か所開設できるように取り組みたい。

**要望**　ぜひ、早期の開設に努めていただくよう要望する。

# 平成19年度柏原市一般会計補正予算（第4号）に対する討論から

3月28日の本会議において、これまで継続審査となっていた、（仮）国分東総合スポーツ公園の用地取得に関する平成19年度一般会計補正予算案件に対し、賛成（1件）・反対（3件）討論を行いました。その後、挙手による採決の結果、賛成少数により原案否決となりました。討論の要旨については次のとおりです。

## 賛成討論（要旨）

地元に対する経済効果という観点から2点、賛成の意見を述べる。

1点目は、砕石場跡地を購入しない場合、亀の瀬跡地が市民に開放されても、収益を計らなければ大きな負担だけが残る。また、住宅地になれば、行政としてインフラ設備に相当な金額が必要となる。

地元が活性化し自立できる自治体にするには、広大な亀の瀬を活用し、それ以外の土地で収益を上げる仕組み作りが必要である。土地が確保できれば、青少年施設、市民の森、ファミリーキャンプ場ファミリー農園、駐車場、民間資本を導入してスーパー銭湯などいくらでも活用の方法がある。

2点目は、あと5、6年で3人に1人が高齢者となるので高齢者の生きがいづくりや仕事の創出等具体的な施策を考えなければならない。一方、地産地消が叫ばれている今、「道の駅」はこの問題を解決する突破口である。障害者の将来を考えると、作業所などで製作した物品を販売しているが、安定した販売場所がない。砕石場跡地の取得に反対されると、地元の需要を無くし、次の柏原市の可能性を否定することになる。

### 自立する自治体を目指せ

リスクの無い事業はない。反対者の理屈では何もしないことが柏原市の取るべき道となる。人口が減少する中、何もしないことは、文字どおり「座して死す」ことになる。今回提案されたのは、市長の発言にもあったが、私どもは一つのプランと捉えている。この場所は、市民の皆さまや企業、大学などから多くのアイデアや意見を盛り込みながら作り上げていく可能性を秘めた場所であると考えている。

## 反対討論（要旨）

今回、予算案で（仮）国分東総合スポーツ公園整備と提案のものが「内容は白紙である」とされ、その後、自然公園や道の駅、入浴施設、駐車場などの話もあり、未だ整備目的が決められていない。

また、施設整備費用も不明である土地買収に市の債務保証を付けられない。柏原市財政は、平成18年度決算ベースでも約2億円の基金の取り崩し、平成19年度予算で5億円、平成20年度予算案でも2億円の基金取り崩しが予定されているように赤字であり、まだ健全財政には至っていない。来年度決算からは連結決算の導入も決まり、国保会計、病院事業会計も多

### いまだ市財政は赤字！

## （仮）国分東総合スポーツ公園特別委員会での審議の経過

この特別委員会は昨年の第4回定例本会議において平成19年度柏原市一般会計補正予算（第4号）を審議するために設置をされ、付託を受けました議案第73号について、現地視察を含め、7回の委員会を開催し、審議を行いました。

また、第6回目の委員会では、当該議案に対し、市民の皆さまから直接ご意見をいただくことを目的として、学識経験者を含む6名の参考人の方々を招いて、ご意見を述べていただいた参考人制度も採用しました。

額の赤字を抱え、大量の資金を伴う計画実施は時期尚早である。「新しい柏原まちづくり基本計画２００８」活性化プランの中でこの地域が取り上げられているが、人が集まる仕掛け作りには時間をかけ、多くの市民の意見を集め、目的や予算をはっきりさせ、実現性と投資効果に見合う取り組みを考えていく必要がある。夢を未来に繋ぐ事業を行う場合、市議会の過半数近くしか賛成できない政策を実行すべきではない。市長も「委員会の決定に従うのは理事者として当然」と述べ、昨年、公共下水道使用料の値上げ条例案に、「いまだ市民の理解を得ていない」と取り下げるリーダーシップを発揮され、今回も期待をしたがそれがなされない以上、市民に選んでいただいた議員として市の姿勢に警鐘を鳴らし、違う政策判断を要求する義務と責任がある。以上の理由から議案第73号「平成19年度柏原市一般会計補正予算（第４号）」については反対である。

## 国分東条砕石場跡地用地取得計画の中止を！

国分東条の砕石場跡地は、平成８年頃、民間住宅開発が計画されその後、国分東小学校も建設された。平成８年の議会では「大きな住宅開発なので、西の端から東の端の現地までの水道水供給には、開発者負担で調査費用６０００万円、工事費用10億から30億円が必要」ということが明らかになった。

その後、その開発計画は取り止めになり、昨年９月市議会で、岡本泰明市長が、プロジェクトを引き継いだ会社に、住宅開発をやめて柏原市に売却する話を持ちかけていたことも明らかになっている。

あの土地は、市街地から離れ、車で行く以外は、歩いてでも、自転車で行くにも歩道がなく、車が頻繁に往来する国道25号線を通って安全に足を運べない土地であり、また、土壌汚染も心配である。

今、国の『構造改革』路線のもと社会保障制度が改悪され、地方自治体への財政支援が引き下げられ、また、柏原市は市独自の高齢者・障害者・母子家庭などの福祉金の廃止や、種々の手数料の値上げ・有料化、国保料の連続値上げなど、市民に痛みを押しつけてきた。国や市による相次ぐ住民負担増に、悲鳴の声が上がっている。

市民の憩いの場やスポーツ施設は必要である。しかし、あの土地を購入する財源は、国保料の引き下げや学校施設の耐震化、安心して歩ける生活道路の整備や子育て支援などに使うべきではないか。

国分東条の砕石場跡地の用地先行取得に関する債務負担行為補正の議案に反対をし、今後、この旧森組砕石場跡地の用地取得計画の中止を求めて反対討論とする。

## 市民協働のまちづくりを推進

議案第73号　平成19年度柏原市一般会計補正予算（第４号）について、反対の立場から討論を行う。

この件につきましては、各種会合や訪問対話活動などあらゆる機会を通じて説明し、多くの市民の方々の生の声を伺った。

また、特別委員会において、各方面から選ばれた６名の参考人の方々の貴重なご意見を拝聴することができた。

その結果、現状では、市の財政状況から見て、じっと我慢をするときであり、特に平成20年度は、一般会計と特別会計等が連結決算されるときであり、市は削るところは削って、将来をしっかり見据えて行くことが、大事であると考え、多くの市民も同様の危機感をもっている。

よって、財政の目途が立った時点で将来に向かっての大きなビジョンを立案すべきである。

また、「まちづくり基本条例」に基づく、「新しい柏原　まちづくり基本計画２００８」に大いに関連する内容でもあり、今回の機構改革の「まちづくり室」を中心にもっと市民を巻き込み、市民協働でのまちづくりを推進することを望む。

それには、まずプロジェクトチームを立ち上げ、多くの市民の声を反映した計画を立案し、明確な予算を組むことによって大多数の市民からの理解が得られる。そのような市民協働の作業が必要である。これらのことを総合的に判断して、市民の理解が得られていないものと判断し「反対」の意思表明をする。

## 3月議会で決めたこと

◇専決処分報告（損害賠償の額の決定及び和解について）について　（報告）
◇専決処分報告（平成19年度柏原市公共下水道事業特別会計補正予算：第３号）について
◇専決処分報告（平成19年度柏原市市立柏原病院事業会計補正予算：第３号）について
◇専決処分報告（平成19年度柏原市水道事業会計補正予算：第１号）について　（以上、承認）
◇市道の路線認定について
◇公の施設（柏原市立市民プラザ）の指定管理者の指定について
◇柏原市事務分掌条例の一部改正について
◇柏原市手数料条例の一部改正について
◇柏原市後期高齢者医療に関する条例の制定について
◇柏原市介護保険条例の一部を改正する条例の一部改正について
◇中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
◇柏原市国民健康保険条例の一部改正について
◇柏原市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について
◇平成19年度柏原市一般会計補正予算（第６号）
◇平成19年度柏原市国民健康保険事業特別会計（事業勘定）補正予算（第３号）
◇平成19年度柏原市国民健康保険事業特別会計（施設勘定堅上診療所）補正予算（第１号）
◇平成19年度柏原市公共下水道事業特別会計補正予算（第４号）
◇平成19年度柏原市柏原駅西口地区市街地再開発事業特別会計補正予算（第4号）
◇平成19年度柏原市市立柏原病院事業会計補正予算（第４号）
◇平成20年度柏原市一般会計予算
◇平成20年度柏原市国民健康保険事業特別会計（事業勘定）予算
◇平成20年度柏原市国民健康保険事業特別会計（施設勘定堅上診療所）予算
◇平成20年度柏原市公共下水道事業特別会計予算
◇平成20年度柏原市老人保健医療事業特別会計予算
◇平成20年度柏原市介護保険事業特別会計予算
◇平成20年度柏原市柏原駅西口地区市街地再開発事業特別会計予算
◇平成20年度柏原市後期高齢者医療事業特別会計予算
◇平成20年度柏原市市立柏原病院事業会計予算
◇平成20年度柏原市水道事業会計予算
◇柏原市手数料条例の一部を改正する条例等の一部改正について
◇平成19年度柏原市一般会計補正予算（第７号）
◇平成19年度柏原市市立柏原病院事業会計補正予算（第５号）
◇平成19年度柏原市水道事業会計補正予算（第２号）　（以上、原案可決）
◇平成19年度柏原市一般会計補正予算（第４号）　（原案否決）
◇固定資産評価審査委員会委員（松村俊光氏）の選任につき同意を求めることについて
◇固定資産評価審査委員会委員（松村久雄氏）の選任につき同意を求めることについて　（以上、同意）
◇人権擁護委員（藤谷道子氏）の推薦につき意見を求めることについて
◇人権擁護委員（華田吉一氏）の推薦につき意見を求めることについて　（以上、適任）

## 陳情等

○**安全な医療と看護・介護の実現、地域医療拡充をはかるため、医師・看護師等の大幅な増員を求める陳情**　大阪ナースウェーブ実行委員会
○**意見書採択を求める要請について**　全大阪労働組合総連合他１団体
○**選挙権の年齢引き下げを求める要望**　社民党柏原支部
○**後期高齢者医療制度の実施の中止を求める要望**　社民党柏原支部
**（以上の陳情は、議長預かりとなりました。）**
○**少人数学級をすすめ、どの子にもゆきとどいた教育を保障するための要望**　柏原市の30人学級をすすめる会
○**東条地区の森組砕石場跡地の整備計画について（要望）**　東条地区地元有志３名
○**（仮）国分東総合スポーツ公園の用地購入について反対を求める陳情**　提出者以下２０３名
○**（仮）国分東総合スポーツ公園の用地購入について反対を求める陳情**　提出者以下　７２名
**（以上の陳情は、理事者送付となりました。）**

※個人から提出された陳情等については、個人情報保護の観点から個人名は掲載しておりません。

## 本会議・委員会を傍聴しませんか

本会議・委員会開会当日、受付にて受付簿に住所・氏名等を記入するだけで簡単に傍聴できます。お気軽にお越しください。

一般傍聴者の定員は、本会議20名、委員会10名です。

なお、傍聴の詳しい方法やわからない点等がありましたら、**議会事務局972－1501（代表）内線3113・3114**までお問い合わせください。

第２回定例会（６月議会）の開催予定は次のとおりです。

### 第２回定例会（予定）

| 月　日 | 会　議　名 | 内　容 |
|---|---|---|
| ６月４日(水) | 本　会　議 | 議　案　説　明 |
| 18日(水) | 本　会　議 | 個人質疑・質問 |
| 19日(木) | 本　会　議 | 個人質疑・質問 |
| 23日(月) | 総務文教委員会 | 付託議案審査 |
| 24日(火) | 市民福祉委員会 | 付託議案審査 |
| 25日(水) | 建設産業委員会 | 付託議案審査 |
| 30日(月) | 本　会　議 | 各委員長報告、採決 |

※いずれの会議も午前10時からです。　※日程は変更する場合があります。

## 編集後記

今号には、第一回定例会（平成20年３月定例会）での、市政運営方針に対する質問及び議案質疑の中から主なものを一部抜き出し、掲載しております。

今後とも、市議会だよりを通じて、市民の皆さまに議会の活動を知っていただき、より関心を持ってもらえるような紙面づくりに努めてまいります。

編集委員
◎藤森　洋一　○山下亜緯子
奥山　渉　橋本　満夫
中村　保治　乾　一
（◎は委員長　○は副委員長）